

## 1 国語

学校番号	T3010
------	-------

## 令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	2	年次	2
使用教科書	『高等学校 改訂版 新編国語総合』（第一学習社）						
副教材等	なし						

## 1 担当者からのメッセージ

- ・言語活動能力を高めることを目指す。
- ・毎日出席し、日々の課題は原則としてその日のうちに提出する。
- ・必要に応じて教科書以外の教材を扱うこともある。

## 2 学習の到達目標

- ・適切に表現し、的確に理解する能力を育成する。
- ・伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばす。
- ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能 力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 たる 評 価 方 法	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート)	・行動の観察(授業態度や発言等)	・記述の確認(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査	・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の確認(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査	・記述の確認(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4・5月	短歌の世界	「大切な言葉」 ・短歌の鑑賞のしかたを習得する。 ・近現代の短歌における代表的な作品を読み味わい、鑑賞文を書く。 ・日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。 ・短歌の特徴について、興味・関心を持つ。				◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 b: 必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取っている。 c: 相手や目的などによって、説明と描写とを効果的に使い分けている。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等
6・7月	小説を読む	「よだかの星」 ・童話的な作品の鑑賞のしかたを身につける。 ・生きることに對する思いと理解を深め、話し合いをする。 ・個性的な文章表現を味わう。		◎		◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b: 何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等
9・10月	表現の実践	「手紙の書き方」 ・手紙の価値と必要性を理解し、実際に手紙を書く。 ・手紙の形式を理解し、形式をふまえた手紙を書く技術を身につける。	○		◎		○	a: 誰に向かって、何のために、どのような条件で書くのかを考えようとしている。 c: 誰に向かって、何のために、どのような条件で書くのかを考えている。 e: 書くことに必要な、語句の構造的な仕組みについて理解している。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等

11・12月	随筆を読む	「枕草子」 ・随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助動詞について理解を深め、読解に生かす。 ・敬語について理解する。 ・文体の特色を理解する。	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等
1月	随筆を読む	「徒然草」 ・随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助動詞について理解を深め、読解に生かす。	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等
2・3月	寓話・小話	「寓話・小話」 ・まとまった文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 ・寓話・小話の意味や教訓を読み取る。 ・中国古典に現代にも通用する考えがあることを理解する。	○			◎	○	a: 我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d: 文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読の決まりを身に付けている。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 話す・聞く能力      c: 書く能力  
d: 読む能力      e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎を付している。